



TOYOTA BOSHOKU

東証1部 証券コード 3116

2018年度（2019年3月期）

第3四半期 決算説明会

開催日：2019年2月1日

目次

- 1. 2018年度第3四半期 決算状況**
- 2. 2018年度 通期業績予想**

1-1) 2018年度第3四半期 決算の概況

■ 第3四半期

1. 主力製品のシート台数の増加に加え、車種構成の変化や新製品切替による商品力向上により増収

2. 増収効果はあるものの、南米での為替影響や原材料価格の高騰、新製品開発や将来に向けた取組みのための諸経費の増加により減益

■ 通期予想

3. 当第3四半期実績および為替影響等を勘案し、
営業利益、経常利益、当期純利益^(※)を下方修正

(※)親会社株主に帰属する当期純利益

1-2) 2018年度第3四半期 決算状況

【連結決算概要】

(億円)

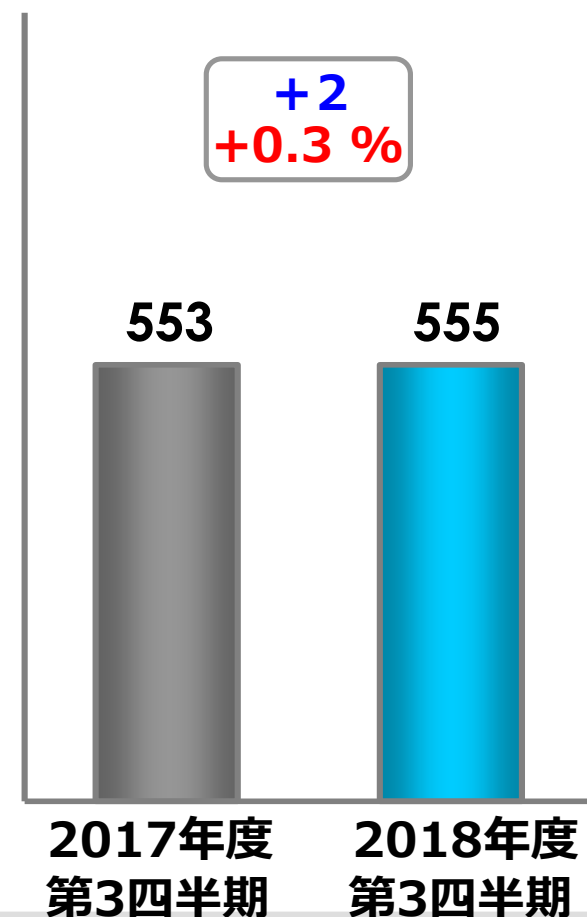
	17年度 第3四半期実績		18年度 第3四半期実績		増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
売上高	10,330	100%	10,467	100%	136	1.3%
営業利益	494	4.8%	436	4.2%	△58	△11.7%
経常利益	518	5.0%	442	4.2%	△76	△14.7%
当期純利益*	285	2.8%	170	1.6%	△114	△40.2%
1株当たり当期純利益	153円53銭		91円79銭			
為替レート	USドル	112円	111円	1円 円高		
	1-0	129円	129円	-		

* 親会社株主に帰属する当期純利益

1-3) 2018年度第3四半期 決算状況 地域別シート生産台数

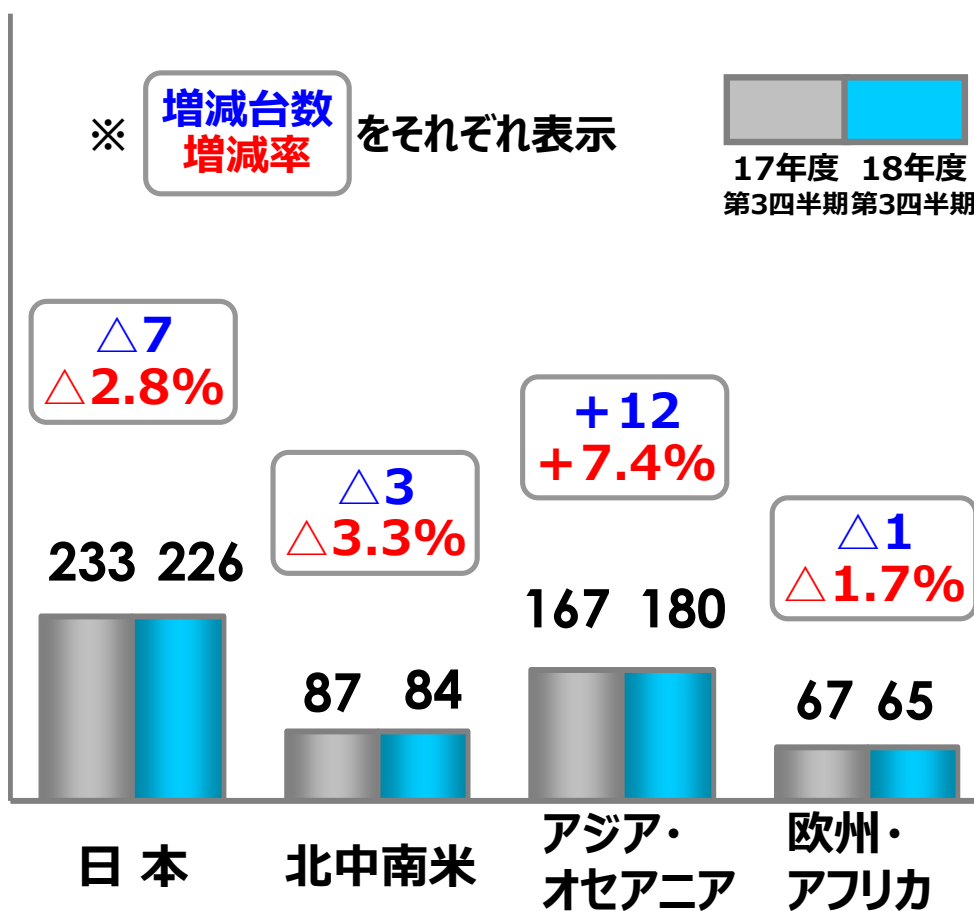
連結全体

(万台)



セグメント別

(万台)

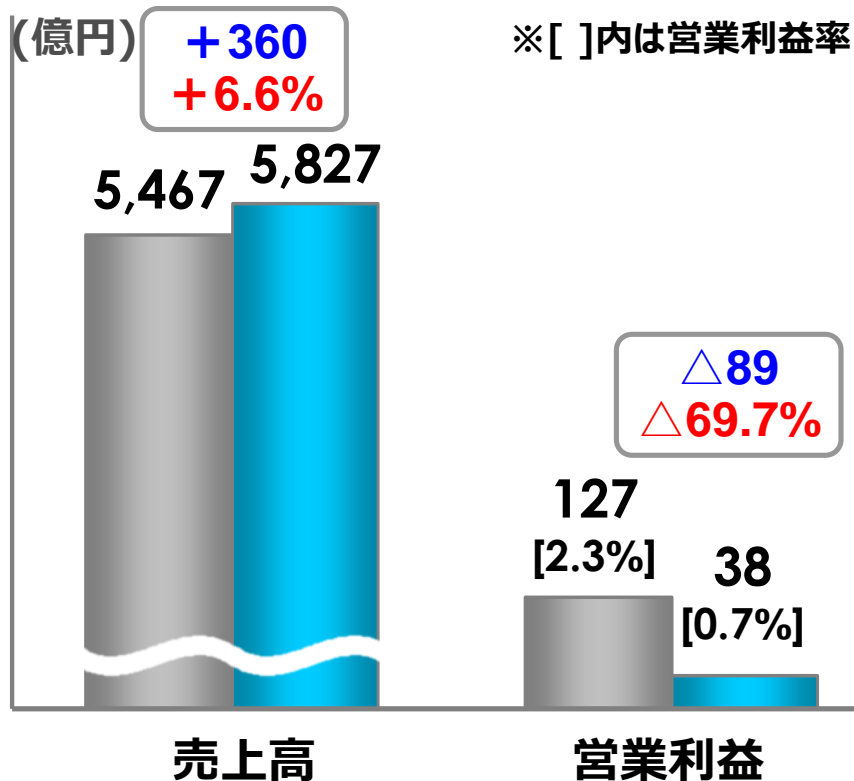


1-4) 2018年度第3四半期 決算状況 地域別売上高・営業利益

日本

減益要因 △89億円

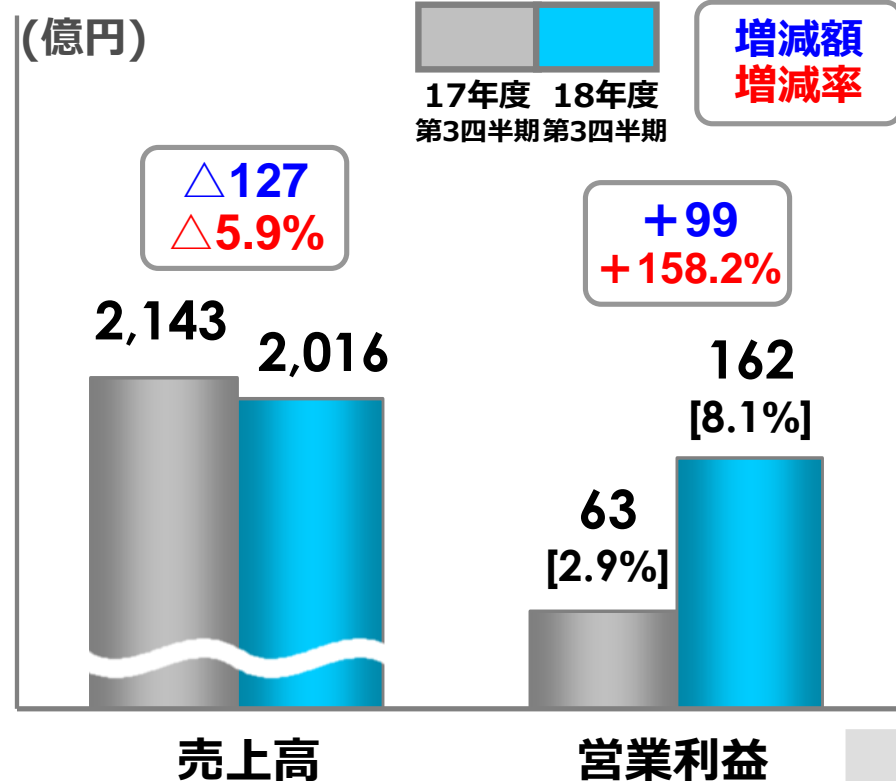
- ・減産はあるが、車種構成変化により増収
- ・労務費や諸経費の増加に加え、
移転価格税制調整金の影響により減益



北中南米

増益要因 +99億円

- ・北米での減産、南米での為替影響により減収
- ・新製品の生産準備費用の増加はあるものの、
移転価格税制調整金の影響により増益

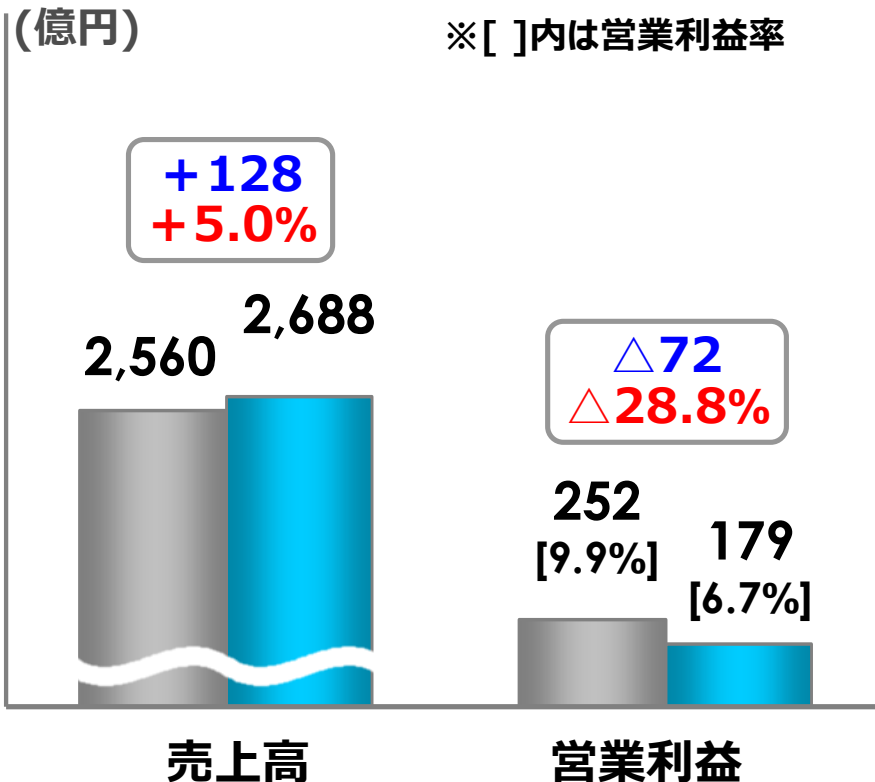


1-4) 2018年度第3四半期 決算状況 地域別売上高・営業利益

アジア・オセアニア

減益要因 △72億円

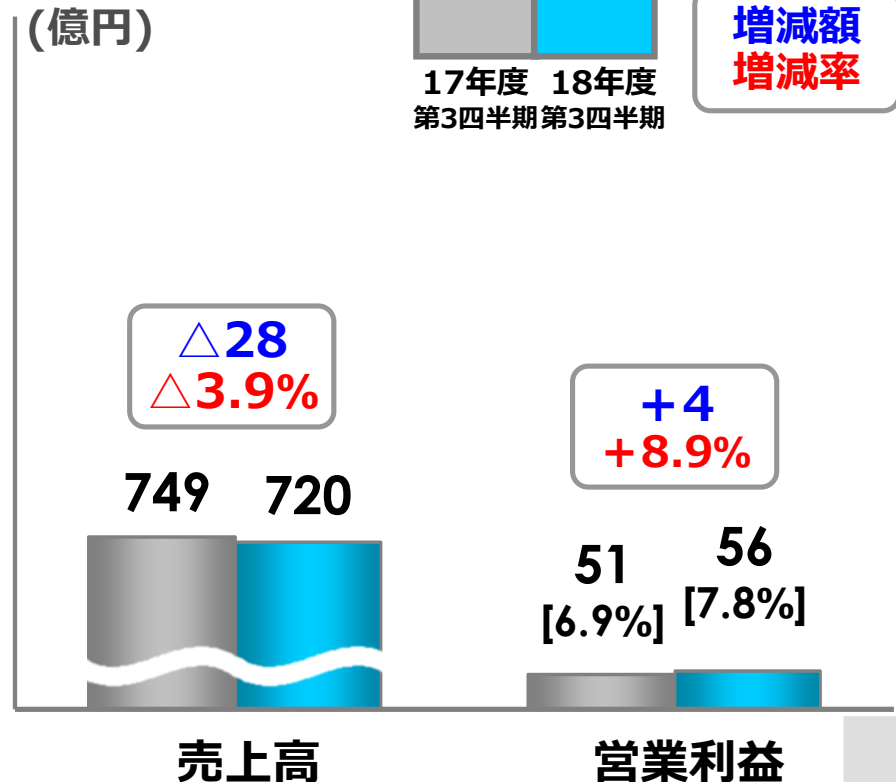
- ・主に中国での増産により増収
- ・増産、新製品投入による増益効果はあるが、移転価格税制調整金の影響により減益



欧州・アフリカ

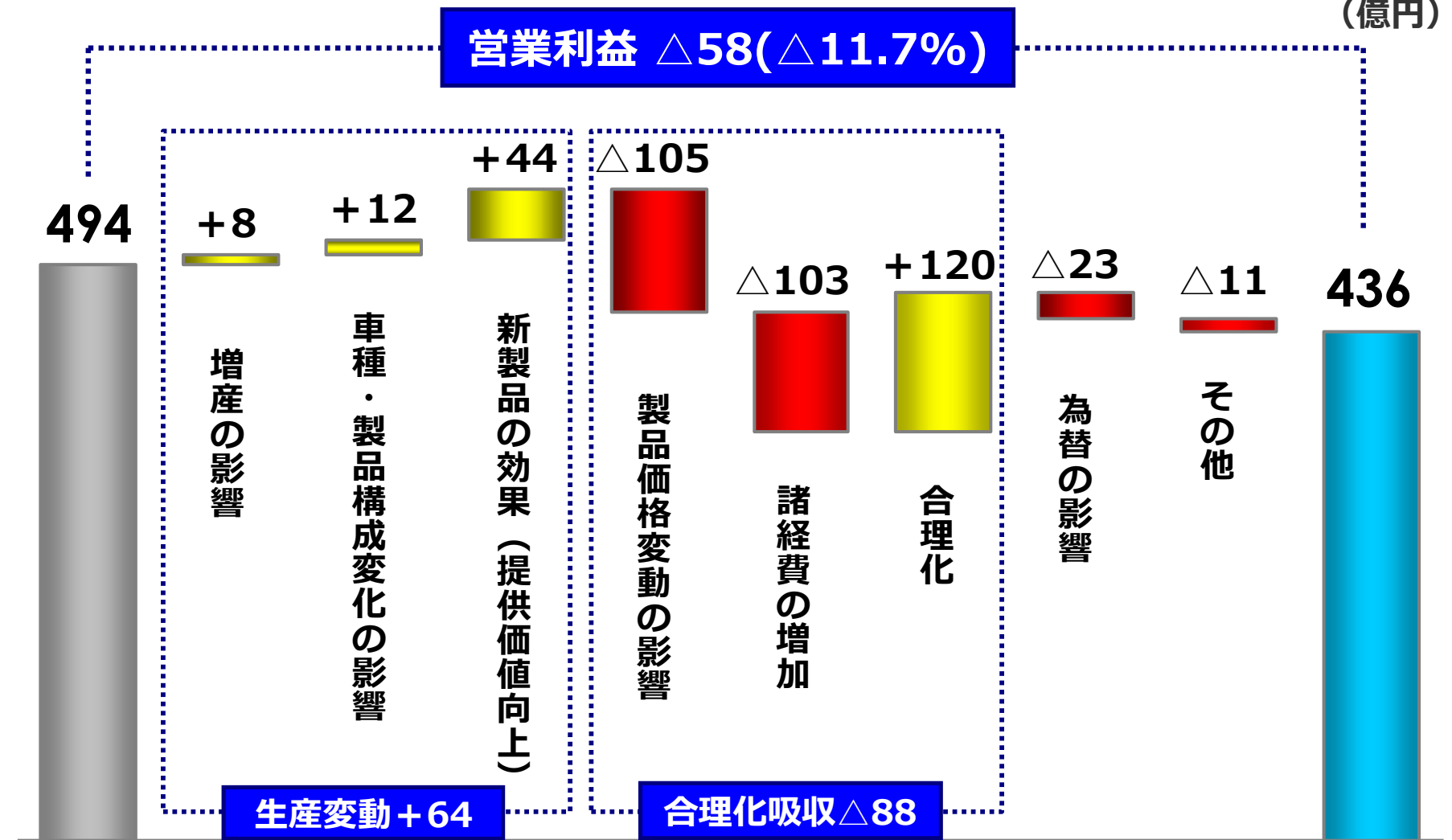
増益要因 +4億円

- ・減産により減収
- ・減産の影響はあるが、構成変化の影響により増益



1-5) 2018年度第3四半期 決算状況 営業利益増減要因

(億円)



2017年度
第3四半期

2018年度
第3四半期

1. 2018年度第3四半期 決算状況

2. 2018年度 通期業績予想

2-1) 2018年度 連結決算 通期業績予想

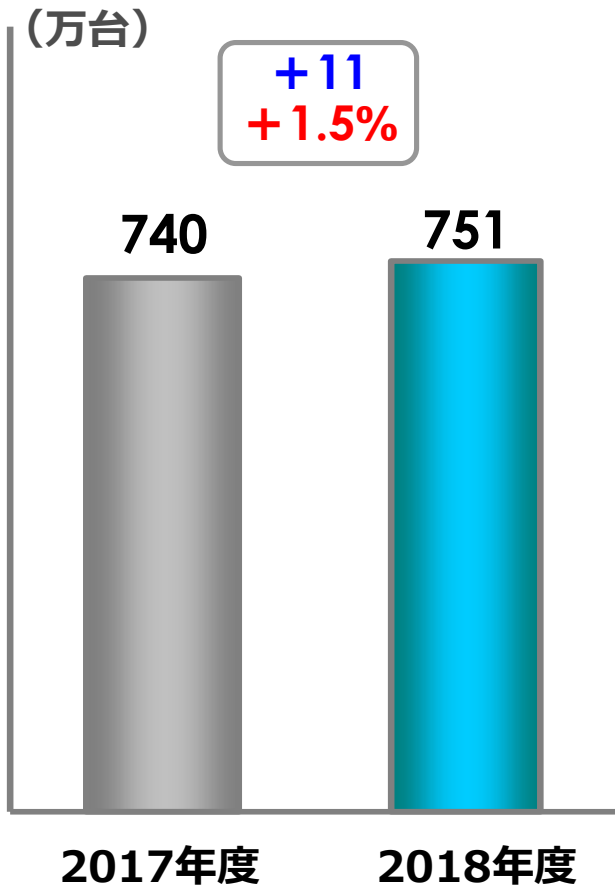
(億円)

	18年度 通期予想(10月31日)		18年度 通期予想(最新)		17年度 通期実績		増減 (18最新-17実績)	
売上高	14,000	100%	14,000	100%	13,995	100%	4	0.0%
営業利益	620	4.4%	580	4.1%	711	5.1%	△131	△18.5%
経常利益	630	4.5%	580	4.1%	728	5.2%	△148	△20.4%
当期純利益*	340	2.4%	260	1.9%	427	3.1%	△167	△39.2%
1株当たり当期純利益	183円08銭		140円01銭		230円27銭			
1株当たり配当金	56円00銭		56円00銭		54円00銭			
為替レート	USドル	110円	111円	111円	111円	-		
	ユーロ	130円	128円	130円	130円	2円 円高		

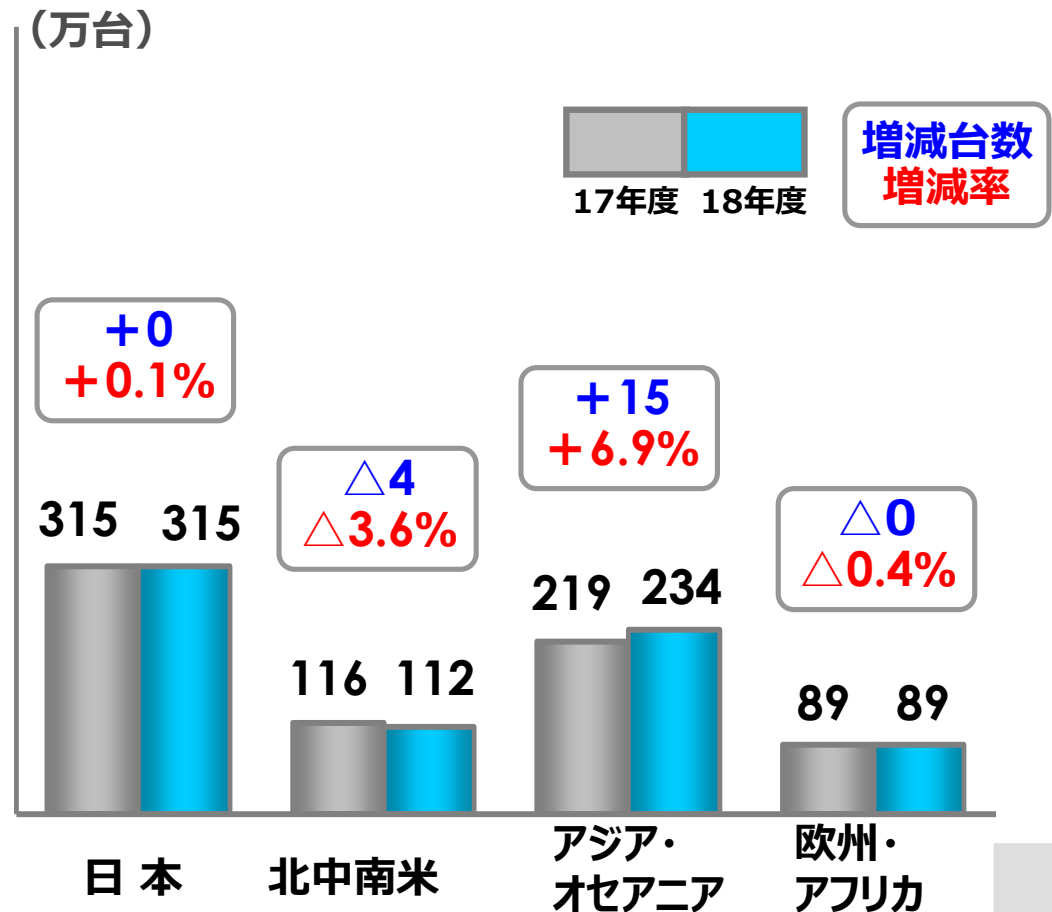
* 親会社株主に帰属する当期純利益

2-2) 2018年度 通期業績予想 地域別シート生産台数

連結全体



セグメント別

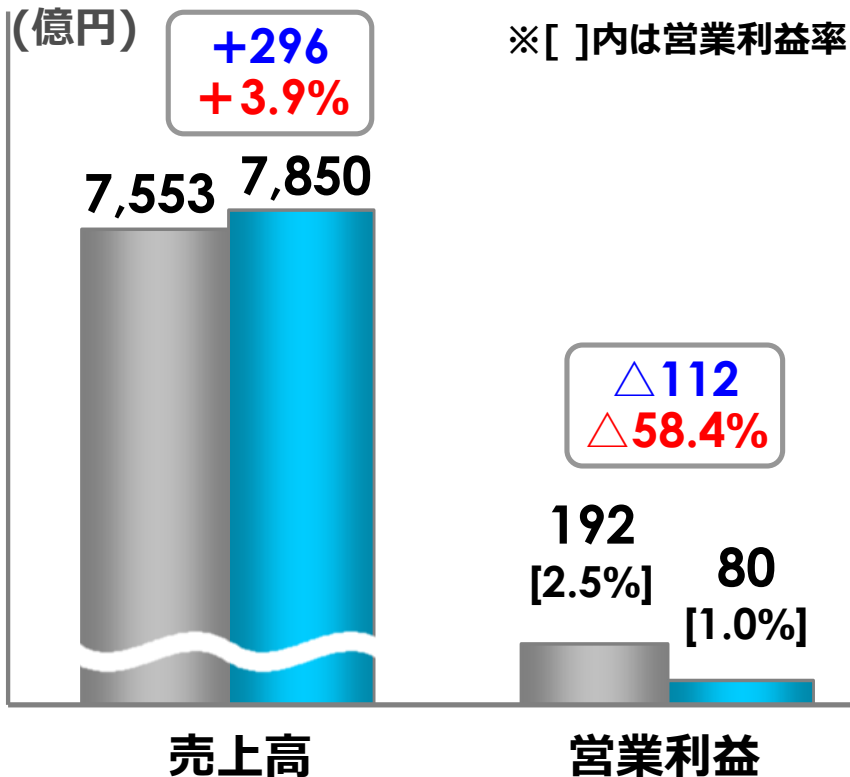


2-3) 2018年度 通期業績予想 地域別売上高・営業利益

日本

減益要因 △112億円

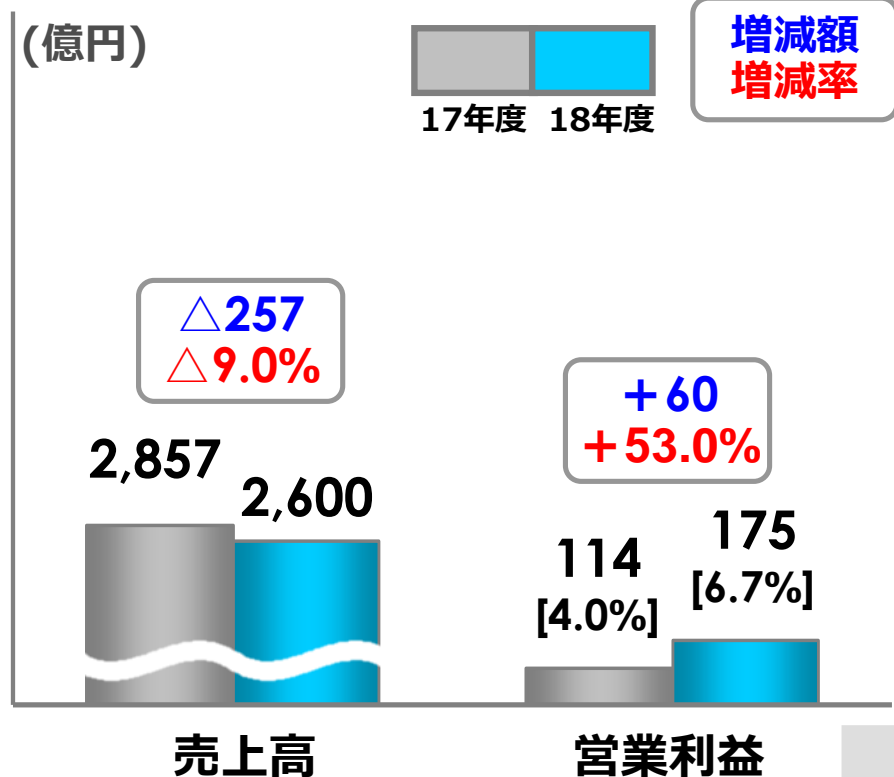
- ・車種構成の変化により増収
- ・将来の成長に向けた先行投資に加え、
移転価格税制調整金の影響により減益



北中南米

増益要因 +60億円

- ・北米の減産、南米での為替影響により減収
- ・新製品の生産準備費用の増加はあるが、
移転価格税制調整金の影響により増益



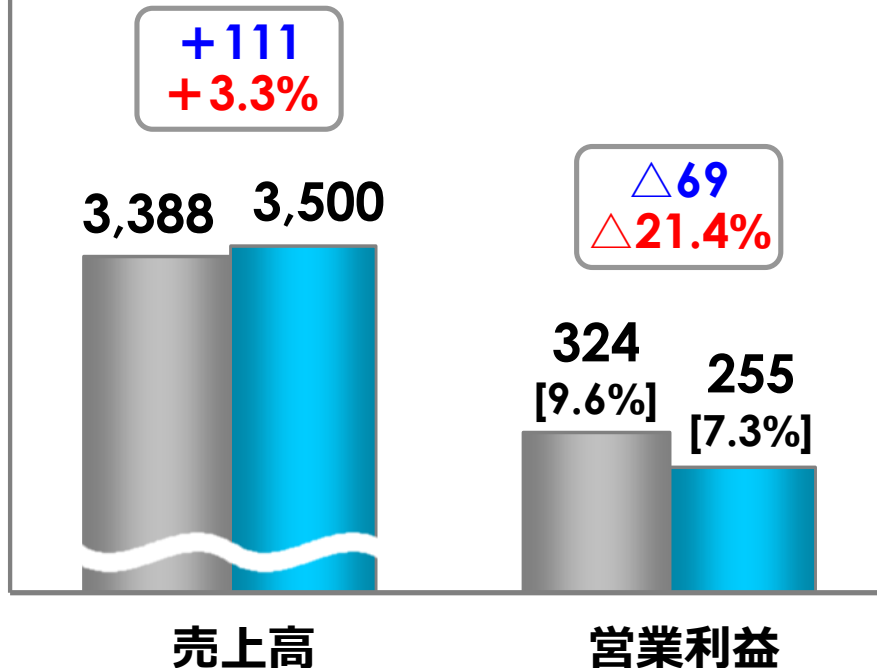
2-3) 2018年度 通期業績予想 地域別売上高・営業利益

アジア・オセアニア

減益要因 △69億円

- ・主に中国での増産により増収
- ・増産に加え、新製品投入効果もあるが、
移転価格税制調整金の影響により減益

(億円) ※[]内は営業利益率

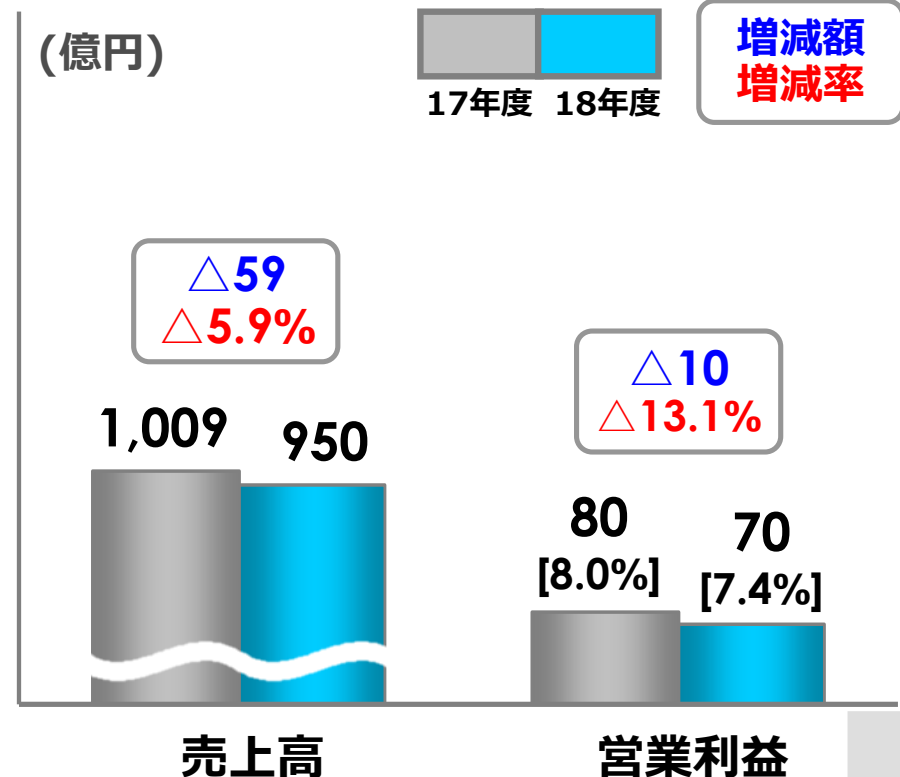


欧州・アフリカ

減益要因 △10億円

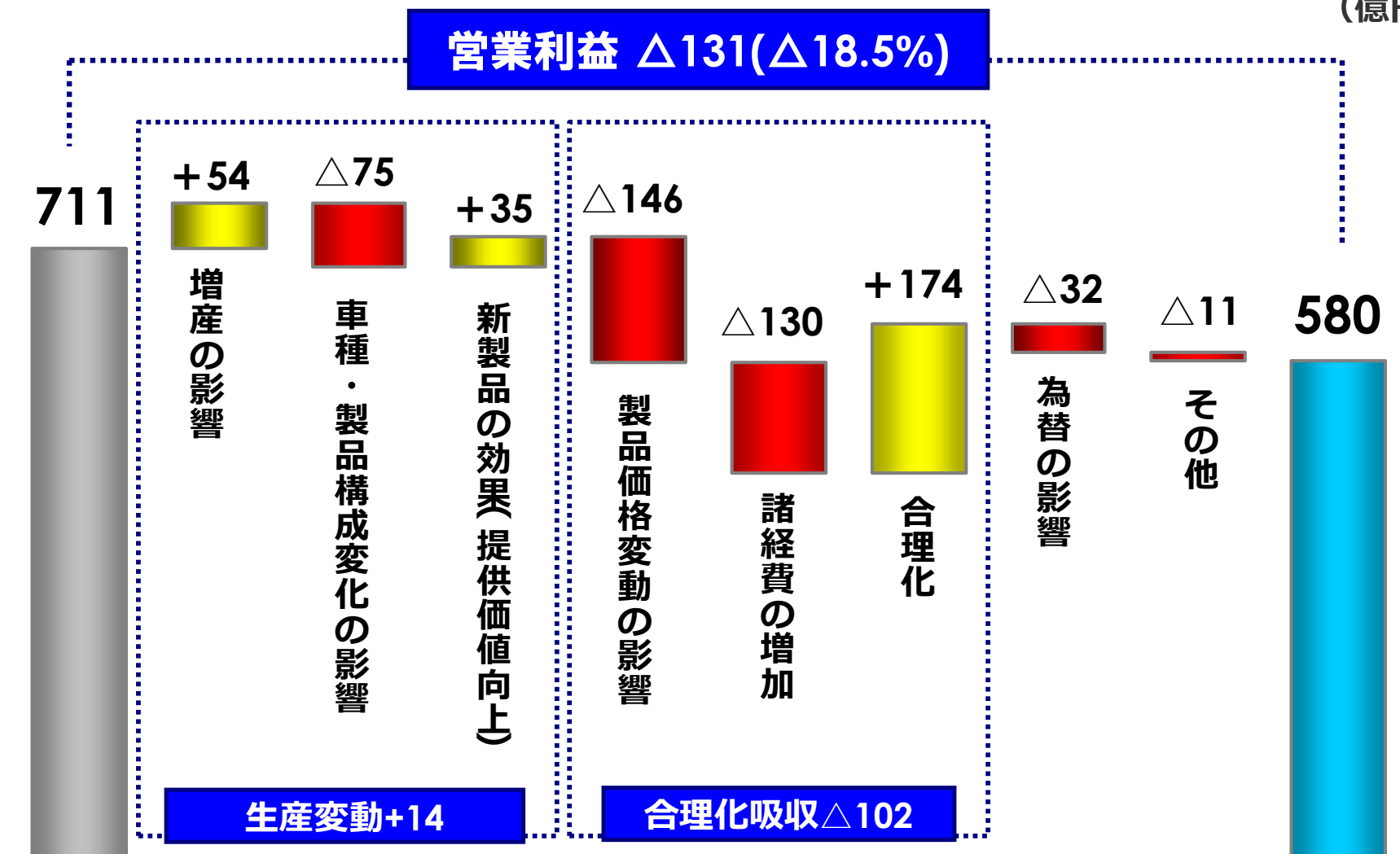
- ・昨年生産終了した車種の影響および、
前年度の一時的な収益の減少により減収減益

(億円) 17年度 18年度



2-4) 2018年度 通期業績予想 営業利益増減要因

(億円)



2017年度実績

2018年度予想

2-5) 2018年度 通期業績予想 (上・下別)

売上高

(億円)

	18年度予想		
	上期(実績)	下期	通期
日本	3,824	4,025	7,850
北中南米	1,353	1,246	2,600
アジア・オセアニア	1,759	1,740	3,500
欧州・アフリカ	471	478	950
連結全体	6,862	7,137	14,000

営業利益

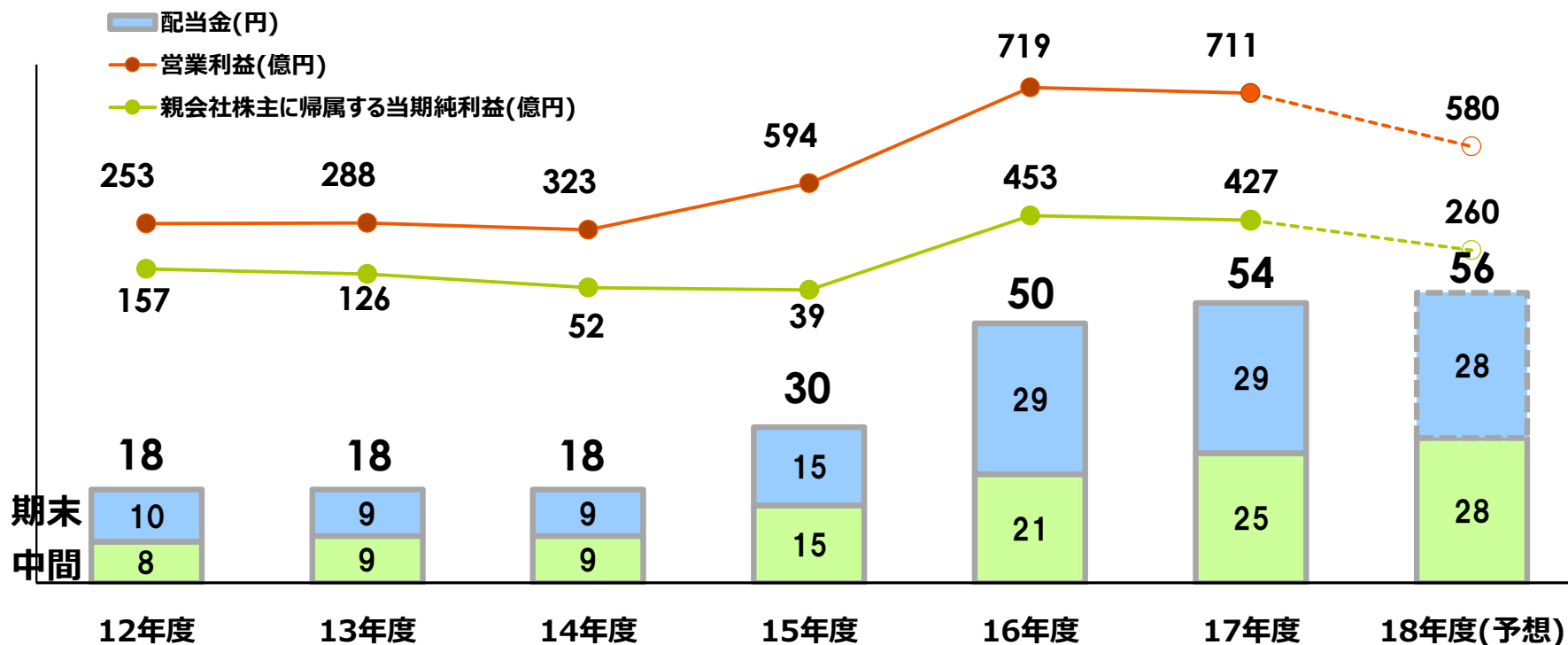
(億円)

	18年度予想					
	上期(実績)		下期		通期	
日本	8	0.2%	71	1.8%	80	1.0%
北中南米	165	12.2%	9	0.8%	175	6.7%
アジア・オセアニア	72	4.1%	182	10.5%	255	7.3%
欧州・アフリカ	33	7.0%	36	7.7%	70	7.4%
連結全体	278	4.1%	301	4.2%	580	4.1%

2-6) 2018年度 通期業績予想 株主還元

- ・18年度は、17年度より2円増配の56円を予定
- ・連結業績などを総合的に勘案し、長期安定的な配当を継続

配当金および営業利益、当期純利益の推移





<注意事項>

本資料に記載されている将来に関する業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想値であり、不確実性やリスクを含んでおります。

そのため 実際の結果は様々な要因によって業績予想と異なる可能性があります。